

都市再生整備計画 フォローアップ報告書
東部第二地区

令和元年 10月

宮崎県宮崎市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	新規着工建物件数	件	0	230	208	確定 見込み ●	△	あり なし ●	215	R1年6月	△	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	住宅密集地での制約ある施工等が要因で、当初からの事業スケジュールを変更したこと等により、目標値には達しなかったが、土地区画整理事業により良好な住宅・商業業務基盤が創出され、年間34～49件の新規着工建物件数につながった。
指標2	避難施設とリンクした避難路の整備率	%	52	100	94	確定 見込み ●	△	あり なし ●	94	R1年6月	△	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	住宅密集地での制約ある施工等が要因で、当初からの事業スケジュールを変更したこと等により、目標値には達しなかったが、まちのオープンスペースである街区公園と道路とのネットワークの構築により、防災性の高い都市基盤が構築できてきている。
指標3	通学路の安全確保率	%	38	100	60	確定 見込み ●	△	あり なし ●	60	R1年6月	△	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	住宅密集地での制約ある施工等が要因で、当初からの事業スケジュールが変更となったこと等により、目標値には達しなかったが、土地区画整理事業の推進により歩道付き道路が整備され通学路の安全性が着実に高まっている。
指標4	新規画地における緑化画地割合	%	76	80	72	確定 見込み ●	×	あり なし ●	71	R1年6月	×	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	1期計画(H16～)から、区画整理法第76条に基づく申請が提出された際に宅地内緑化に関する普及啓発(パンフレットの作成配布など)を継続的に実施しており、宅地内緑化に協力する建物が増えてきている。しかし、新規に建物を建ててから緑化をするまでにタイムラグがあること等から目標値には達しなかった。
指標5	住民満足度	点	2.8	3.3	3.2	確定 見込み ●	△	あり なし ●	3.2	R1年6月	△	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	本事業による道路ネットワークの強化や公園整備に加えて、商業施設等の立地が進み、津波避難ビルが指定される等、居住地としての価値が向上しており、住民満足度も向上しているが、わずかに目標に達しなかった。

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1	住民満足度の向上	点	0	/	1.3	確定 見込み ●	/	/	1.4	R1年6月	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	住民アンケートにより定住意欲の向上が確認できたことなど、H25時点と比較すると満足度に関するすべての項目で評価値が向上し、住民からの支持の高いまちが形成されてきているといえる。
その他の数値指標2	着工後建物における緑化割合の増加	%	73	/	76	確定 見込み ●	/	/	80	R1年6月	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	宅地内緑化に関するパンフレット・事業だよりの配布等による継続的な普及啓発を実施したことにより、着工後建物を中心に宅地内緑化率が高まってきている。
その他の数値指標3	新規画地面積に対する緑化画地面積の割合	%	77.8	/	79.4	確定 見込み ●	/	/	82.4	R1年6月	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	継続的な宅地内緑化の普及啓発等により、景観・緑化に関する住民意識が高まっており、緑化された新規画地が年々増加してきている。また、地区内における公園整備が進んでいることにより、みどり豊かなまちが形成されてきている。
その他の数値指標4	津波避難ビルとリンクした避難路の整備率	%	84	/	96	確定 見込み ●	/	/	97	R1年6月	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	本事業により良好な住宅・商業業務基盤や道路ネットワークの形成・強化が図られた。また、住民の防災意識の向上を図る取り組みを行った結果、防災ビルの指定が進み、防災性の高い都市基盤が構築できてきている。

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した 今後のまちづくり方策(事項)	実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項	
・成果を持続させるために 行う方策	防災性の高い安心・安全で良好な住環境と 良好な産業基盤の形成	東部第二土地区画整理事業による道路築造や住宅基盤整備を 実施している。	都市基盤整備が進むことで、避難路の整 備率も高まり、防災性もますます向上して いる。また、住民アンケートにより安心・安 全に関する項目で満足度が上昇している ことが確認できた。	引き続き東部第二土地区画整理事業の進捗に努める。
	みどり豊かで魅力ある景観の形成	宅地内緑化に関する普及啓発の取り組み(パンフレット配布な ど)を継続し、協力体制の強化を図った。	宅地内緑化の普及啓発の取り組みを継 続したことによって、新たに緑化を実施し ている宅地を確認できた。	地区外から居住してくる住民や新規に建物を建築する住民に対してパンフレットの 配布等を続けるとともに、事業だよりにおいても緑化に関する啓発活動を行 い、緑豊かな景観の持続に努める。
	安心・安全でふれあいのあるまちづくりの推 進	津波避難ビルの位置を示した防災パンフレットの配布を行った。	津波避難ビルに対する住民への周知及 び防災意識の向上を図ることができた。	防災パンフレット作成時から新たに津波避難ビルが指定されているため、今後、 パンフレットの更新を行い、配布する予定としている。 また、市では東部第二土地区画整理事業地区内を対象とした防災訓練を実施 予定であり、それらの活動を通して住民の防災意識向上に努める。
改善策 ・まちづくりの目標を達成するた めの改善策 ・残された課題・新たな課題への 対応策 ・その他 必要な改善策	安全・安心で快適なまちの形成・強化	東部第二土地区画整理事業による道路築造や住宅基盤整備に 加え、旭通線の交差点改良を行った。	住民アンケートでも安心・安全に関する項 目で満足度が上昇している。また、定住意 欲の向上も確認できたことから、住民から の支持の高いまちが形成されてきている といえる。	引き続き東部第二土地区画整理事業の進捗に努める。
	魅力あるまちの形成・強化	東部第二土地区画整理事業区域の一部が宮崎駅東通り地区重 点景観形成地区ガイドラインの一部に該当していることから、関 連するパンフレットを市HPに掲載し、市役所本庁舎に設置してい る。	宮崎駅東通線の電線共同溝整備による 無電柱化など良好な景観形成が進んでい る。	景観形成ガイドラインに沿った宮崎駅東通線の植栽・舗装工事を今後実施する 予定としている。また、関連するパンフレットを東部第二事務所に設置すること を検討し、更なる普及啓発に努める。
	住民が主役となった持続的なまちづくり体制 の構築・強化	今後、整備を予定している5号街区公園の整備計画作成に関す る住民アンケート調査を行った。	公園の整備計画に市民の意向を反映さ せることができた。	今後も街区公園についてのアンケート調査を実施するとともに、今村近隣公園 の整備計画に関するワークショップを実施する予定としており、住民の意向を反 映させた公園整備を進める。

事後評価シート 添付様式5-③から転
記

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項